

笠女郎、大伴宿禰家持に贈る歌二十四首

五八七番

我が形見 見つつ偲はせ あらたまの 年の緒長
我が形見 かたみ 見つつ しの 偲はせ あらたまの 年の緒長 をなが
く 我も思はむ われおも

五八八番

白鳥の 飛羽山松の 待ちつつそ 我が恋ひ渡る
白鳥の しらとり 飛羽山松の とばやまつ 待ちつつそ 我が恋ひ渡る あこわた
この月ごろを つき

五八九番

衣手を 打廻の里に ある我を 知らにそ人は
衣手を ころもで 打廻の里に うちみさと ある我を われ 知らにそ人は ひと
待てど来ずける ま

五九〇番

あらたまの 年の経ぬれば 今しはと ゆめよ我
あらたまの とし 年の経ぬれば いま 今しはと ゆめよ我 わ
が背子 我が名告らすな せこ